

令和5年度 保育所自己評価

園名 吹田市立千里山保育園

保育所保育指針では、「保育所は、保育の質の向上を図るため、保育の計画の展開や保育士等の自己評価結果を踏まえ、当該保育所の保育の内容等について自ら評価を行い、その結果を公表するように努めなければならない」ことが明記されています。このことに基づき、公立保育園では毎年自己評価を実施しております。評価の結果を踏まえ、よりよい教育・保育に向けた、改善や充実に取り組んでまいります。

園目標

げんきな子ども
ともだちだいすきな子ども

評価結果の表示方法

A・・・十分達成されている。 B・・・達成されている。 C・・・取り組まれているが、成果が十分でない
D・・・取り組みが不十分である。

自己評価項目	ABCD 評価	評価内容
保育理念	A	子供の人権を尊重し、一人ひとりを大切に保育を行った。
子供の発達援助	A	全職員で子供の姿や課題を話し合い、保育に取り組んだ。
保護者との連携	A	参観や懇談会を計画的に行い、家庭と連携しながら信頼関係を築くことができた。
地域との連携	A	園児との交流や体験保育等を実施し、子育て支援を行った。地域の会議に参加し連携が取れた。
運営・管理、社会的責任	A	常に服務規律を遵守し保育を行った。
職員の資質向上	A	全職員が園内外の研修に参加し学習をした。また定期的に園内研修を行った。
安心・安全	A	ヒヤリハット・事故事案を全職員で共有し、再発防止に努めた。

今年度の評価

安心・安全な保育 保育の質の向上	・ヒヤリハット・事故事案を全職員で検証し、共有して保育を行うことができた。年度初めに固定遊具の遊び方等確認し、安心・安全な保育を行った。 ・毎月、テーマを決めた園内研修を行い、全職員で保育の学習を積み重ねた。
---------------------	---

来年度の目標

安心・安全な保育 身体づくり	
-------------------	--